伏超従	去益物乎	間守介	所打沾	浪不数為而	万葉集 卷七 1387 作者未詳
伏越ゆ	行かましものを	守らひに	うち濡らさえぬ	波数まずして	
ふしこえゆ	ゆかましものを	まもらひに	うちぬらさえぬ	なみよまずして	
伏越を	さっさと行けばいいのに	ぐずぐずして	濡らしてしまった	波を読み違って	